

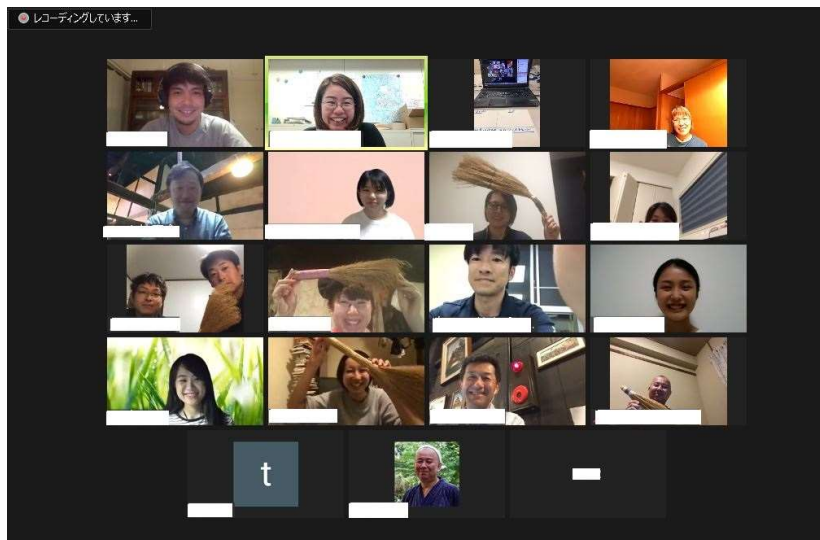


## 村民も大活躍！かややね会議開催！！

7月1日（水）、見出しの会がオンラインにて開催されました。今回は白川村から8名が参加。秋の一斉茅刈り2日目の企画「茅ほうきづくり」について、イベントの価値を高めるためのアイデア出しを行いました。

茅ほうきづくりの経験がある村民の方から、簡単なつくり方や、使ってみた感想などをお話いただいたことで、今まで夢見がちだった企画が、より現実的な企画へとまとまっていくことに喜びを感じました。村外の方だけでなく、村民だけでなく、両者協力し合うことの大切さ、素晴らしさを実感した瞬間でした。

それでは、今回話し合われたアイデアや意見を、簡単にご紹介します。



ほうきにタグを付けてオリジナリティを出す。タグは白川郷の木を利用。

帰宅後、使ってみた感想をレビューする。イベントに参加していない第三者へのPRにも。

村の子どもたちと一緒に作る。村民おすすめのスポットで記念撮影 with ほうき！

ほうきを作った後に、みんなで大掃除をする。

蜘蛛の巣やカメムシ退治に活躍！ メダカの産卵場所になるかも？

ドライフラワーやアクセサリとしてもオシャレかも。

茅ほうきイロイロ使い方BOOKを作成する。

消耗品で1年くらいで短くなるので、  
再度白川村へ来てほうき作り！ リピーターに！！

地場のもの（茅）を使うので、茅葺き屋根とリンクして、白川郷の魅力が増す。

短時間で作れるので、2つ作ってパートナーと交換（村民と村外参加者）。

会議終了後は引き続き懇親会を。ご参加くださった村民の方からは、「茅刈りや茅刈り前夜祭でお会いした方と再会できて嬉しかった。」「今後も定期的に語り合うことで、絆のようなものが生まれそうでワクワクする。」「茅刈りに来てくださった際には豚汁などをつくっておもてなししたい。」「こんなに白川のことを考えてくれていて、なんだかずっと前から知っている人のような気がした。」といった感想をいただきました。皆さんだったら、どのようなほうきを作りたいですか？ 「かややね会議」は2か月に1回程度開催されます。興味のある方はぜひ一緒に参加しましょう！ 【文責：福田】

**※新型コロナウイルス禍の影響により、本年度の村外支援者を招いての茅刈りは難しい状況にあります。しかし、「茅ほうきづくり」は次回に必ず活かします。また、オンライン会議による交流は継続の予定です。**

# リレーコラム!!.....今回は上手敬子さんからバトンタッチ!!

リレーコラム(上手敬子さんからの紹介)

## 「故郷に帰ろう!!」

余語 茉梨花さん



「白川に移住しよう!」

事の発端は2年前の夏、主人のこの一言でした。

当時住んでいた家の契約満了が半年後に迫る中、私たちは住む場所を探していました。希望条件は水がきれいなところ、自然豊かなところ、子どもを育てたいと思える環境であること、お互いの両親とそんなに離れないこと。

あれ?!白川、全ての条件を満たしてる!!! そんなこんなで私は、15年ぶりに故郷に帰ってこることができました♡

澄んだ空気を胸いっぱい吸って一日が始まり、外を歩けばあちこちで世間話に花が咲く。子どもたちが必死で捕まえるアカペロやカエルにわくわくし、幼い頃の思い出が蘇る。どこの家へも勝手に上がり込み、歓迎される子どもたちを羨ましく思い、あたたかい気持ちになる。太鼓と笛の音色に、心が踊る。ああそうか、私はこんな村に育ててもらったのかと、今さらながら嬉しくなる。

美しい四季の移ろいも、子どもたちをのびのびと遊ばせてくれる大自然も、人々とのあたたかい繋がりも、すべては子や孫、これから生まれてきてくれる子どもたちに残したい財産であり、私たちが祖先から託してもらった何よりの財産であるという事によりやく気付けた気がします。

そして、思うのです。

世界遺産白川郷に住み、合掌造りを、自然を、結の心を、  
"守るべき"私たちは、そのすべてに守られて生きているのだと。

.....余語さんの「白川大好き!」という思いが伝わってくる文章で、改めて村を形成する村びとの温かさや自然のありがたさに気づかされました。難しいことを考えなくとも、好きだから残したい。そして、今の自分があるのは祖先のおかげだから、子や孫へも同じように.....という気持ちは、都市部ではなかなか抱くことが難しいように思います。時代の変化なので、それが悪いとは思いませんが、このような気持ちを自然と抱くことができる白川村はステキなところだなと感じました。余談ですが、余語さんのお母様も、以前似たようなこととお話されていて、きちんと思いが繋がれているなと感動しました!  
[文責:福田]

### 守る会活動スローガン ~ 守る・くらす・つなぐ ~

- ①守る: 住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす: 結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ: 故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## = 7月の活動報告 =

- 7月 1日 第2回かやね会議@ZOOM
- 7月 3日 第2回荻町構想計画会議
- 7月 8日 7月定例会・役員会
- 7月 9日 ねそ7月号配付
- 7月 13日 「空き家対策アンケート」配付、21日回収
- 7月 31日 オオハングソウ除去作業(観光協会青年部)

9月の定例会は、10日(木)公民館にて開催。

◎区民の皆様へ.....建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、役員に内容を説明の上、役員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

### ☆8月の協議事項(現状変更申請に関わって)☆

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| ***** 自宅庭のアスファルト舗装     | 白川村.....防犯カメラ設置 |
| ***** 南側妻板壁及び窓庇修理      | ***** 玄関戸の取り替え  |
| ***** 仮設小屋の復元(ハサ小屋)    | ***** 庭板壁塗装     |
| ***** 車庫の増築、既存シャッター交換  | ***** 別宅の解体     |
| 白川村消防団.....ホース収納箱の交換修繕 |                 |

※空き家対策アンケートへのご協力、ありがとうございました。129件中113件が集まりました(回収率88%)。アンケート内容を集計分析し、これからの取り組みに活かします。未提出の方は、まだ間に合いますので役員へご提出ください。